

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)

【公開番号】特開 2011-100916 (P2011-100916A)
【公開日】平成 23 年 5 月 19 日 (2011.5.19)
【年通号数】公開・登録公報 2011-020
【出願番号】特願 2009-255946 (P2009-255946)
【国際特許分類】

H 0 5 K 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 7/20 B

【手続補正書】
【提出日】平成 24 年 11 月 6 日 (2012.11.6)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 0
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 1 0】

上記目的を達成するために、請求項 1 記載の電子部品の放熱用実装構造は、第 1 の電子部品と、第 2 の電子部品とを備えた電子部品の放熱用実装構造において、前記第 1 の電子部品から前記第 2 の電子部品に熱伝導するように前記第 1 の電子部品と前記第 2 の電子部品との間に架設される受動部品を有することを特徴とする。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

第 1 の電子部品と、第 2 の電子部品とを備えた電子部品の放熱用実装構造において、前記第 1 の電子部品から前記第 2 の電子部品に熱伝導するように前記第 1 の電子部品と前記第 2 の電子部品との間に架設される受動部品を有することを特徴とする電子部品の放熱用実装構造。

【請求項 2】
前記受動部品は、前記第 1 の電子部品が備える電源供給端子と前記第 2 の電子部品が備える電源供給端子との間に架設されることを特徴とする請求項 1 に記載された電子部品の放熱用実装構造。

【請求項 3】
前記受動部品は、抵抗器であることを特徴とする請求項 2 に記載された電子部品の放熱用実装構造。

【請求項 4】
前記受動部品の消費電力は、前記第 1 の部品の消費電力よりも少ないことを特徴とする請求項 1 乃至 3 いずれか 1 項に記載の電子部品の放熱用実装構造。

【請求項 5】
前記受動部品の消費電力は、前記第 2 の部品の消費電力よりも少ないことを特徴とする請求項 4 に記載の電子部品の放熱用実装構造。

【請求項 6】

前記受動部品は、セラミック材を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 5 いずれか 1 項に記載の電子部品の放熱用実装構造。

【請求項 7】

前記第 1 の電子部品は第 1 の I C チップであり、前記第 2 の電子部品は第 2 の I C チップであることを特徴とする請求項 1 乃至 6 いずれか 1 項に記載の電子部品の放熱用実装構造。

【請求項 8】

前記受動部品は、前記第 1 の I C チップの不使用端子と前記第 2 の I C チップの不使用端子とに接続されていることを特徴とする請求項 7 に記載の電子部品の放熱用実装構造。